

第二十六回近代文学館企画展

『静修館』の文学

赤田臥牛・章斎・誠軒と一門

平成二十九年三月十八日～十九日

於 高山市図書館「煥章館」一階生涯学習ホール

主催 一般社団法人 高山市文化協会

共催 高山市

いあいさつ

近世から近代にかけて、この地域の文学がどの様に育ち今日に到ったのかを、飛驒の歴史に残る文学者とその作品を紹介することによって、市民の皆様にも郷土の文学・文化を理解していただくために、一般社団法人 高山市文化協会は高山市とともに、毎年二回「高山市近代文学館企画展」を開催しています。

今回は「『静修館』の文学 赤田臥牛・章斎・誠軒と一門」と題して企画しました。

江戸時代後期から明治・大正・昭和の時代においては、郷土の文学の世界でも多くの文学者が活躍して、俳句・和歌・漢詩等々が着実に普及し発展しました。

教授所「静修館」は、江戸後期に飛驒で最初に開かれた学問所で、赤田臥牛・章斎・誠軒の三代によって営まれ、地元では著名な学者や文学者の他に当時の地役人なども学び、多くの文化人を輩出する等、郷土の文化を一層高めた私塾であり、その影響は今日の飛驒地方の文化にしっかりと根付いています。

今後も、高山市の文学・文化の発展と振興のために、近代を中心とした文学企画展の開催に努めてまいります。本日は「高山市近代文学館企画展」において下さり、誠に有難うございました。

なお、今回の「高山市近代文学館企画展」においては、小島幸男様、栗瀬新一様、今井幸三様、糸田恵子様、飛驒高山まちの博物館の指導と助言をいただきました。厚くお礼を申し上げます。

平成二十九年三月

〔展示目録〕

- 1 学問教授所静修館と赤田三代
2 「枳奠（せきてん）」祭壇飾り一式・瓦豆

【静修館】

- 3 高山町教授所取建願・附（写）
4 高山町教授所取建上申書（写）
5 高山町教授所場所替願書写
6 教授所絵図面（教授所再興願出書）
7 菊地愿明詩稿 大原亀五郎元締（静修館塾生詩稿）
8 上田济世詩稿（静修館塾生詩稿）
9 教授所規定書
10 童蒙訓
11 飛驒先儒赤田氏修墓記事

【赤田臥牛】

- 12 蘭亭尚齒會詩有序略之（七言絶句）
13 一時詞客興相仍（七言律詩）
14 添蓮（七言絶句）

- 15 青青杜若滿前池（七言絶句）
16 寄題小谷長圓道場（七言絶句）
17 昔者（七言絶句）
18 謹茲拜祝因賦一
19 真宗上人初過訪（七言絶句）
20 臥牛⇓ 館柳湾（消息）
21 飛驒籠渡し図（大森旭亭筆）
22 臥牛集
23 次韻和（七言絶句）
24 赤田臥牛詩文稿（遺稿）
25 匡廬憶昨踏雪■（七言絶句）
26 如来示目通（書状）
27 一自老胡畢化縁（七言絶句）
28 題獨木橋（七言絶句）
29 臥牛自作銘竹掛花入
29 | 2 三福寺十勝
30 屏風（二曲一双）
31 樹密（七言二句）

【赤田章齋】

- 3 2 小楼偶来（五言絶句）
3 3 足立某のために章齋が画とともに書いた「歸去来の辞」
3 4 金鱗陽数具（五言絶句）
3 5 一遭周老豪奇
3 6 賀 吉邨翁兼謝惠書画（七言絶句）
3 7 惟天地萬物父母
3 8 有斐
3 9 竹の囀
4 0 本立而道生
4 1 送別 孝堂坂生（七言絶句）
4 2 曾入南山白石歌（七言絶句）
4 3 送 府掾佐賢吏（七言絶句）
4 4 戲贈 後藤秀才（七言絶句）
4 5 遊都竹氏居（五言律詩）
4 6 漢詩（耕月菴席上咏冬桜）
4 7 尚書注疏 卷二
4 8 易經 雜卦（文政五年十一月）
4 9 曲礼 上下 檀弓 上（天明三年十二月）
5 0 周礼 司服

- 5 1 老子經 王弼注
5 2 老子經備檢
5 3 小杏園集 詩文集版下稿
5 4 赤田章齋詩文稿
5 5 細草新花春到處（屏風六曲一双）
5 6 春日雨集
5 7 雜詩
5 8 感遇行三首
5 9 赤田誠軒書簡
6 0 中極大紀
6 1 筆跡 赤田誠軒
6 2 周易 卷一一 說掛伝第十二、卷 繁辭上伝
6 3 周礼 卷二一七
6 4 儀礼 卷 士喪礼
6 5 左氏伝図解 卷一一七 残欠
6 6 雜稿草稿
6 7 赤田誠軒詩文稿
6 8 薰風

【赤田誠軒】